

# ほげんだより

## 3年生と保護者の皆様へ

7月1日(金)、講師に薬剤師の山崎健さんをお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。

飲酒した未成年者が起こした事件、バーで働く未成年者の飲酒事例、依存症で入院している小児患者の事例、大麻使用者のその後就く仕事…たくさんの事例を、臨場感あるトークで話され、皆、真剣な表情で聴



いていました。また、風船にシンナーを付けるとどうなるか…といった実演もありました。そして、最後には、ゆったりとした美しい音楽が、先生持参の大きなスピーカーから流れ、幼い頃を回想させていくインナーチャイルドワークで講話

が終了しました。

9ヶ月後には卒業し、様々な人と関わっていく3年生にとって、とても大切なお話でした。



↑握りこぶしを二個くっつけ、脳の大きさを確認中。

シンナーを使用すると脳が縮んでしまう…



参加者には、修了証  
が配られます



## ◎感想を一部紹介します

- ・ お酒も薬物の内の1つだと聞いて驚きました。未成年の手による事件には、ほとんどお酒が絡んでいると聞いて、お酒は20歳まで飲んではいけないという思いがさらに強まりました。
- ・ 薬物による影響は、「何が」じゃなくて、「何歳から始めたか」が一番重要だということがわかりました。未成年飲酒が身近で危なく、アルコールを飲み過ぎると死んでしまうことがわかりました。お酒のせいで死ぬのは嫌なので、国のルールと常識の範囲内で、ということをお忘れなくします。人生嫌なことがあるかもしれないけど、犯罪には手を出さず、夢と味方を見つけようと思いました。
- ・ 一番印象に残ったことは、大麻の話です。それだけで社会から見捨てられ、大麻を売るなどの仕事しかできなくなることがとても恐かったです。
- ・ シンナーで風船を溶かしたのが印象に残りました。風船にシンナーをかけて、1秒くらいで、すぐ風船が割れてびっくりしました。
- ・ 大人になってから何回か薬物などを勧められることがあると聞いて、びっくりしました。平和で楽しい人生を過ごしたいので、そういった場面に出くわしてしまったときは、きっぱりと断りたいです。
- ・ 講演を聞いて、薬物をやってしまう人は、誰かに誘われること以前に本人に重い悩みなど、つらく苦しいものがあることがわかった。薬物をやらないことはもちろん、人間関係もしっかりやっていけるようにしていこうと思いました。
- ・ 最後にやった目をつぶるやつ(インナーチャイルドワーク)で、自分の身の周りには、本当に恵まれていると感じた。自分を育ててくれた親のためにも絶対にお酒とか薬物はやらない。